



都の木：いちよう

生ごみ110番東京ネットワーク

創刊号 2008年1月28日発行 生ごみ110番東京ネットワーク事務局

生ごみ110番東京ネットワークが設立しました！

自治体にとってごみ問題は住民と日々接点を持った大きな課題です。循環型社会を目指したごみのリサイクルはその過程において発生するCO₂や費用負担が、自治体にとって過重になってきました。ごみを資源として最大限に生かしながら、ごみ原単位をいかに減らすかを住民とともに考え、行動することが必要になってきました。



《私たち東京ネットワークのメンバーです》

ごみの資源化の1つとして「生ごみ」を、堆肥、飼料、バイオエネルギーなどに利用するさまざまな手法の検討をしてきましたが、これだという決定打が見当たりません。そんな折「くうたくん」に出会いました。生ごみをごみとして出さないことが、ごみ原単位を減らす最も有効な手段だと思います。生ごみを消化してくれる「くうたくん」を日々ペットのごとくかわいがっています。多くの人に利用してほしい逸品です。

(東京ネットワーク代表 荒木千恵子)

藤本式生ごみ処理器「くうたくん」開発者 藤本倫子さんからのメッセージ



「生ごみ110番東京ネットワーク」が大都市東京都から、くうたくんに関心のある日本中の皆様に勇気を与えてくださいました。15年の間、一人で生ごみ皆無運動を叫び続けた私には、百万の味方が目の前に現れた感無量のものがあります。メンバーの皆様に感謝致します。

思う様にならぬまま最後の手段として、子どもエコクラブの子ども達に生ごみ減量運動を訴え、実演を続けたところ意外に早く理解を得ました。人間が食べた残りの物は、外でも同じ様にきれいになることを子ども達は知ったのです。

人は食べ物を食べても臭わない。くうたも一緒。胃袋が動き食べたものはなくなってゆく。くうたも同じ、よく手で混ぜる、くうたは手がないから。水を飲み過ぎると下痢をする。くうたも同じ、虫が教える。人はいつもきれいな空気を吸う。くうたは、しっかり手で空気を入れてやる。三つの原則を守ったら元気な人と同じ様に、くうたも元気で生ごみを食べてくれる。

子ども達にこれを教えて大成功。家では子どもが先生、ママにもパパにも教えて親子の交流が出来、家庭が明るくなったと喜ばれています。くうたの歌まで作ってくれました。

「みどりのバケツくうたくん。ぼくたちなかまのくうたくん。みんながのこしたごちそうをきれいに食べておてつだい。…すみよい地球になるようになかよくみんなとおつきあい。…」

家から生ごみの出ない様がんばると、子ども達はハリ切っています。

各地区紹介

《清瀬市》

平成18年2月千代田区の白井さんが、都環境学習リーダーニュースに「くうたくん」の記事を載せたのが始まり、一番寒い時期に「くうたくん」は我が家にやってきました。それから丸3年。

昨年6月消費生活センターの「エコ祭り」に私達のグループは「くうたくん」を展示しました。結構反響はありました。

今年は「くうたくんお元気ですか？」年賀状を書きました。男性の方からは「寒くなったのでダンボールで囲いを作りました」又中々始めなかった方から「乱暴なやり方で始めました」等々返事が来ました。

今年の「エコまつり」に「くうたくん」の4年間の働き振りを見てもらいます。市民の方々からどんな反響が出るかとっても楽しみです。

《荒川区》

私は三年ほど前に「くうたくん」を買いました。EM菌のコンポストも試したことがあったのですが、くさい臭いとEM菌を毎回購入しなければ続けられないので、挫折した経験があります。

最初は、ゴミに手を掛けなければならない煩わしさや虫の発生で中断もしましたが、臭いがないということと、中断してもまた、やり直せるという「くうたくん」は、優れものだと思います。

今年は荒川区環境課を巻き込んで、2月下旬に生ごみコンポスト講座をする予定です。助成金がつくよう、頑張りたいと思います。

《多摩市》

藤本先生のお話を聞いて「くうたくん」を始めて1年半。すっかりその魅力にはまってしまい、会う人ごとに熱く語っている私。

折りしも今年(2008年、4月)から家庭ごみの有料化がいよいよスタート。いくらごみを減らして分別を進めても、残るは生ごみ。生ごみの処理はどこの家庭でも頭を悩ます問題ですよ。そこで登場! 「くうたくん」。

多摩ニュータウンが市の6割をしめる多摩市。団地住まいで庭がなくても大丈夫。じわじわとくうたくんメンバーが増殖中!。あなたもぜひ「くうたくん」に会ってみて!可愛くて手放せなくなりますよ。

《千代田区》

6年前に「くうたくん」と出会い、生ごみ処理を続けています。始めて間もなく、くうたくん開発者の藤本先生が我が家に来て下さってお話することが出来ました。以来、その生き方、ひた向きさに感銘を受け仲間と活動を始めました。「くうたくん」を紹介することはもちろんですが、買って下さった方を長くサポートしていけたらいいと思っています。

千代田区は、集合住宅に住む人が住民の8割を占めるので、「くうたくん」の生ごみ処理はとても有効です。もっとたくさんの方に「くうたくん」を使ってもらい、千代田区のごみ減量に貢献したいです。

《調布市》

「くうたくん」開発者の藤本倫子先生に初めてお会いしたのは3年前、多摩南生活クラブ生協の3R推進チーム企画の「くうたくん説明会」でした。

3R推進チームでは生ごみ削減をテーマにしたアンケートを行い、その結果、堆肥として利用したい人には「アスカマン」「コーラン」を、処理器利用の人には消滅型の「くうたくん」を紹介するためのパンフレットを作成し、出前講座やイベントで紹介しながら広めています。

調布市は新ごみ処理施設建設にあたり、他行政にごみ処理をお願いしており、ごみ削減が最大のテーマです。ごみ削減の効果を出すには生ごみを如何に出さないかを一人ひとりが取り組むことです。07年5月の「アースディ in 調布」でのアピールを皮切りに、堆肥を望まない方には「くうたくん」の利用を進めています。



武内好恵さんの場合

消滅型生ごみ処理器《くうたくん》とは…

生ごみ処理器「くうたくん」との運命の出会いから7ヶ月。毎日元気に生ごみをパクパクしてくれています。料理の時に出る野菜の屑、食べ残しのおかず、揚げものの後の油、コーヒーの粉、お茶っ葉など、とにかく「くうたくん」は生ごみをいれて混ぜるだけ！それだけ！ 「えっ？本当～??」私が話をしても最初はみんな半信半疑です。

よく混ぜれば、臭いもしないし、手をかければかけるほどしっかりと応えてくれて、我が家で一番の働き者です。「よく働いて、偉いね～」などといひ話しかけてしまいます。まるでペットのよう。

「くうたくん」とは、直径32センチの底に穴の空いたポリバケツです。この中に「消化酵素をしみ込ませたおが屑」が入っています。適度な水分調整をして、後は毎日300gを目安に生ごみを刻んで混ぜるだけ。できるだけ細かく刻んで入れた方が早く処理できます。つまりは人間のお腹の中と同じ原理で消化酵素でごみを消してしまう(二酸化炭素と水になる)ということなのです。

私は、朝晩底まで丁寧に混ぜて、よく空気に触れさせてあげます。好気性の分解なので臭いしません。私は素手で混ぜるのですが、それが嫌な場合は、ゴム手袋や軍手をして混ぜます。小型のスコップで混ぜてもOKです。冬場は家の中に置いておきましたが、今はベランダに。お日様が大好きで、暖かい方が早く分解します。特に「くうたくん」のすぐれたところは油が好きなこと。料理で汚れたお皿やお鍋に付いたカレーもきれいに「くうたくんで拭き取ってから」洗うので、水も汚しません。ただ、とうもろこしの芯や玉ねぎの皮、鶏の骨、卵の殻などは分解されにくいので入れません。今まで臭いや虫で躊躇していた人。電動処理機はCO2削減に結びつかないなどと考えていた人。そして、マンションに住んでいるため堆肥ができて使い切れないと考えていた人。このような人たちに消滅型の生ごみ処理器「くうたくん」はうってつけです。私は、土を触っている感じで、癒し効果もあると思っています。

「くうたくん」は藤本倫子さんという大正12年生まれの女性が独自に開発し、普及していました。今は、賛同する人で作る「生ごみ110番」というボランティア団体が購入やアフターケアのお世話をしています。売上の一部は日本環境協会の「藤本倫子基金」に入り、環境保全活動への助成金として使われています。

(07年7月ごみっと・SUN61号掲載記事より)

これが「私のごみ減量」！

☆藤本式生ごみ処理器紹介

くうたくんAタイプ



処理量	約300g/日
サイズ	32×32×42cm

- * 消化酵素を主体とした「アースラブ」による好気性分解
- * 生ごみのおいがしない
- * 毎日入れた分くらいがなくなっていく生ごみ削減型
- * 室内やベランダにおけるバケツ大の大きさ
- * 電気を使わない（手でかき回す）
- * 微生物等を追加する必要がないので購入後の維持費はゼロ
- * エコマーク商品に認定されています

生ごみ110番東京ネットワーク

くうたくんBタイプ



処理量	1～2Kg/日
サイズ	31×47×40cm

- * 中身や処理方法はAタイプと同じです
- * 処理能力が、1日1～2Kgあります
- * エコマーク商品に認定されています

生ごみ110番東京ネットワーク

☆藤本式生ごみ処理器「くうたくん」に関するお問い合わせは、以下にご連絡下さい。

千代田区 白井操子 TEL&FAX 03-3269-6990 Email: shiraisou8@yahoo.co.jp

荒川区 清原美佐子 携帯 080-3201-1606 Email: kiyo.kiyo-a@kym.biglobe.ne.jp

調布市 荒木千恵子 TEL 042-487-0330 Email: a-lucky@mc.newweb.ne.jp

清瀬市 水口フミ TEL&FAX 042-492-0759 Email: kakasamaf@nifty.com

多摩市 エコメッセ多摩 TEL 042-372-2526 (月～土 11時～6時)

府中市 多田真 TEL/FAX 042-361-8846 Email: tadamac1653@jcom.home.ne.jp
携帯 080-5088-2956